

# 前回WGでの主な指摘事項と対応方針について

平成30年2月22日

## 1. ガイドライン整備について

No.	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
1	BLEの配置だけではなく、密度や電波強度についても検討が必要。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配置の間隔や電波強度の設定について実証実験を実施した。</li> <li>・ 実証実験及びBLEビーコンの電波特性による配置の調査検討を踏まえ、電波設定及び配置等に関する設置作業の考慮点等をガイドラインに取りまとめた。</li> <li>・ BLEビーコンを活用するうえで、重要となる送信出力及び発信間隔の設定情報を標準仕様における登録情報として追加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 2</li> <li>・ 資料 2</li> <li>・ 資料 3</li> </ul>
2	Wi-Fiとの関係を整理し、BLEの役割の位置づけの検討が必要。	<p>Wi-Fiのアクセス・ポイントは、施設毎の無線LANの基地局として設置が進んでいる。BLEに比べて通信距離が長いことから設置周辺での大凡の位置を推定する。</p> <p>BLEは電波が微弱であるため、ネットワークデータやPOIデータ等の、人が移動する時に目印となる設備のピンポイントな測位に適している。また、省電力化の実現と軽量・小型であることから設置の普及も進んでいるが、屋内測位に効果的な配置の検討が課題となっている。</p> <p>実証実験での環境も整備されているBLEに位置情報を付与し、ビーコンとしての測位性能を確保するために、考慮すべき事項をガイドラインとして取りまとめる。</p>	資料 2

## 1. ガイドライン整備について

No.	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
3	ビーコンの設置者が、緯度経度をどの程度把握しているのか実態を知りたい。	<ul style="list-style-type: none"><li>・パブリックタグに登録済のビーコン設置自治体に把握状況についてヒアリングを実施した。</li><li>・実証実験において、設置位置情報の計測手法を調査検討し、手法の適用条件や特性について整理した。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・資料4</li><li>・資料2</li></ul>

## 2. パブリックタグ登録促進について

No.	指摘事項(概要)	対応方針	該当箇所
4	パブリックタグ登録情報の改ざん対策として、変更申請時に通知すれば良い。	パブリックタグ登録情報の変更登録時に、申請者へリアルタイム通知するようシステムを改良する。	資料4